

岩倉市男女共同参画基本計画 2021-2030 進捗状況報告書 2023 質疑一 覧（追加分）

施策：1－（１）－①

人権に関する教育・啓発

質問
・内容 人権講演会を開催したことで、「お互いを認め、自分や他者を大切にする意識を高めることができた。」と書かれています。そのように判断された根拠はなにかありますか。講演会終了後に生徒達同士の意見交換会をしたり、アンケートや感想文等を書いたりしたのでしょうか。
・回答 【担当課：学校教育課】 それぞれの講演会終了後には児童生徒に感想文を書いてもらい、それらで意見交換の場を設けることで、お互いを認め、自分や他者を大切にする意識を高めることができた根拠としております。

施策：1－（１）－②

ハラスメント防止の啓発

質問・意見
・内容 カスタマーハラスメントの研修に参加した事業者が1事業者とありますが、1事業者しか参加しなかったのは何故でしょうか。せっかくの取り組みなので、もっと積極的に情報発信をし、より多くの事業者に参加して頂けると良いのではないかと思います。
・回答 【担当課：商工農政課】 市内金融機関、商工会、市福祉・介護担当課を通じて研修の周知を図っています。 市職員向け研修への参加ということもあり、会議などを通じ、事業の目的などをお伝えし、興味を持っている事業者がより多く参加して頂けるように取り組みます。

施策：１－（１）－③

国際理解の促進と多文化共生社会の実現に向けた啓発

質問、意見
・内容 成果指標☆４国際交流や外国人との共生について満足している市民の割合についてのアンケート結果について、日本人側の満足度が高いのは非常に良いことですが、外国人側の満足度がどうなのかが非常に気になります。例えばですが、外国人の方が市役所を訪問された際に、アンケートをお願いするのはどうでしょうか。岩倉で暮らす外国人の皆さんが、岩倉市での生活にどのくらい満足してくださっているのか、また、困りごとや必要としていることはなにかを知れるのではないのでしょうか。QRコードを読み取って答えるアンケートが良いかもしれません。外国人の皆さんのリアルな声を聴き、岩倉市がより質の高い多文化共生地域になっていったら良いと思います。
・回答 【担当課：協働安全課】 参考にさせていただきます。

施策：１－（１）－④

性的少数者への理解促進

質問、意見
・内容 LGBT を直接扱った取り組みは難しいと書かれていますが、こういった理由からでしょうか。 LGBTQ+のみを取り扱うと余計に「ふつうとは違う人たち」といった認識になりかねないので、差別や偏見、誤解等を助長することがないように、例えばハラスメント講習や人権・ジェンダーに関する講習等の一部に、LGBTQ+の内容が出てくるようなものが良いのかなと思います。決して特別な存在ではなく、身近に当たり前に存在しているんだという認識をもってもらい、知らず知らずのうちに当事者を傷つけたりすることのないよう、理解促進を図って頂けたら良いのではと思います。
・回答 【担当課：協働安全課】 ご指摘のとおり、当事者の差別や偏見、誤解等を助長につながるものが心配されるため、実施に当たり参考にさせていただきます。

施策：１－（２）－①

啓発活動の推進

質問、意見
アンコンシャス・バイアス対策として、中学生を中心に若年層に対する啓発を実施と書かれていますが、具体的にどのようなことをされたのでしょうか。実施した結果、どういった成果が得られましたか。 また、若年層のみでなく、幅広い世代への啓発が必要だと感じますが、今後は若年層以外にもなにか啓発活動をされる予定はありますか。
・回答 【担当課：協働安全課】 記載のとおり、中学３年生に対し概要版を配付して理解増進に努めました。効果測定は行っていません。 広報やイベント時のパネル展示等により啓発を進めていくことを考えています。

施策：１－（２）－②

学校教育を通じた男女共同参画社会への理解

質問
・内容 学年に応じた男女平等・男女尊重や性の多様性等への理解を深める教育の推進とは、具体的にどのような方法での推進でしょうか。学年に応じた内容を資料としてまとめるのか、なにか講演等を行うのか、どのようなことを考えられていますか。
・回答 【担当課：学校教育課】 資料としてまとめることは行っておりませんが、進捗状況報告書にもありますように、男女混合名簿やいのちの授業の取り組み、令和６年度は制服の見直しなどを行うことで推進を行っております。

施策：１－（３）－②

地域における市民活動への支援

質問
・内容 成果指標☆１の男女共同参画に関する講座・イベントの参加者数について、R1とR5を比較し、男女共同参画に関する講座・イベント参加者数は半分以下になっています。また、成果指標☆２市民活動に参加している市民の割合についても減少となっていますが、目標値を大きく下回り、更には減少までしているのはどういった原因が考えられますか。また、参加者の年齢層や性別も気になります。
・回答 【担当課：協働安全課】 まず令和元年度はコロナ以前であり、かつ生涯学習講座の一コマに世界的に人気のある店の商品を取り扱う講座内容が含まれていたことに加え、財団のサテライトセミナーも実施されたことから参加者数が多くなっています。令和５年度はサテライトセミナーの実施される年ではなかったこともあり、比較して減少となっていますが、啓発として行った生涯学習講座は、LGBTの内容も盛り込み良い内容であったと認識しています。 また、成果指標２についても、コロナの影響が残っているものと認識しています。

施策：２－（２）－①

労働環境の整備

施策：２－（２）－②

女性の就労環境改善に向けた普及・啓発・支援

意見
・内容 昨年度、広報やリーフレットだけでなく、もっと直接的な働きかけが必要だという意見を出させて頂きましたが、内容が変わっていないように思います。職場で男女が平等であると感じていない女性が大多数という結果を踏まえ、女性側に対する支援はもちろんのこと、男性側の意識改革も非常に重要であるので、もっと前向きな取り組みをお願いしたいです。
・回答 【担当課：商工農政課】 広報やリーフレットでの周知、市役所を会場とし、事業所を対象とした愛知

働き方改革推進支援センターの出張相談に対応しています。

また、引き続き、より効果的な取り組み方法を検討していきます。

施策：2-（3）-①

ワーク・ライフ・バランスの普及や多様な働き方と暮らし方の促進

質問

・内容

成果指標☆2 男性職員の育児休業の取得率が、5.6%から71.4%と、大幅に伸びていますが、取得された男性職員の皆さんは、どのくらいの期間の育児休業を取得されたのでしょうか。また、取得されなかった方は、こういった理由で取得されなかったのでしょうか。

・回答

【担当課：秘書人事課】

取得期間については、全体の取得者数10名のうち、1月未満が0名、1月以上6月未満が6名、6月以上1年未満が1名、1年以上が3名です。
なお、取得しなかった理由の聞取り等はありません。

施策：2-（3）-②

家庭生活・地域活動における男女共同参画の促進

意見

・内容

昨年度も書かせて頂きましたが、セミナーや説明会、講座等を、より多くの方が参加できるように、オンライン併用のハイブリッド開催にしたり、アーカイブ配信をしたり等、開催方法をもっと増やすことはできませんか。若い世代は、男女問わず仕事や子育てで、なかなか決まった時間に会場に足を運んで参加しに行くことが難しいことも多いです。参加したくても参加できないという方もいると思うので、岩倉市の素晴らしい取り組みを、開催方法を増やすことで、より多くの人に届けられたらと思いました。

・回答

【担当課：長寿介護課】

介護保険制度説明会については、ホームページに資料を公開しておりますが、その他の講座等の公開や、オンライン開催、アーカイブ配信などについては、開催方法を検討していきたいと思っております。

施策：３－（１）－①

審議会などへの女性の参画の拡大

意見
・内容 女性登用率が全体で 35.2%とのことですが、女性委員がいない審議会がゼロになるよう、すべての審議会で 35%以上を目指して頂きたいです。人材発掘のために市民委員登録制度の周知を行っていくと書かれていますが、登録制度の周知に加え、様々な団体への積極的な声掛けや連携を図っていくのはどうでしょうか。必ず人材はいます。
・回答 <u>【担当課：協働安全課】</u> 参考にさせていただきます。

施策：３－（２）－①

地域コミュニティ活動の充実・支援

質問
・内容 老人クラブの女性役員登用率が低くなっている要因は何であると考えられますか。登用率を上げるために、具体的にどういった働きかけをされるのでしょうか。
・回答 <u>【担当課：長寿介護課】</u> 老人クラブの組織として、役員 33 名の中では、女性は 5 名のみですが、各単位クラブに女性部長が 1 人ずつ配置しています。 なお、登用率を上げるための、具体的な働きかけは出来ていません。

施策：３－（２）－②

市民活動・市民協働の活性化

質問、意見
・内容 児童館母親クラブは、母親しか入れませんか。新しい母親クラブの形を検討していくとのことですが、さまざまな家庭があるので、いろいろな方が参加できるよう、また、若い世代へ継承していくためにも、「母親」というネーミン

グにはこだわらなくて良いのではないかと思います。

・回答

【担当課：こども家庭課】

ご意見ありがとうございます。母親以外の方でも入会していただけますので、ネーミング等につきましては、今後クラブのみなさんと相談していきます。

施策：3-（3）-①

地域リーダーの育成

施策：3-（3）-④

防犯・防災活動や福祉・保健活動への参画の促進

質問

・内容

昨年度、以下のような内容を書かせて頂きました。より多様な方が参画できるよう、開催方法についての検討や男女で役割が偏らないような配慮等はないかして頂きましたか。1年前と比較して、なにか変化はあったのでしょうか。

大きな災害があつてからでは遅いので、ぜひ積極的な取り組みをお願いしたいです。

「災害時には平常時における社会の課題がより浮き彫りになる」

防犯や防災、環境活動においては、女性や若者等の意見やアイデアは絶対的に不可欠だと思いますが、まだまだ女性や若者の参画が少なすぎるように感じます。災害時や非常時においては、女性・高齢者・障がい者・子育て世帯・外国人等はどうしても災害弱者になります。そういった災害弱者になりうる人たちの声をあらかじめ政策に取り入れておくことは、いざというときにはすべての人にとって必ず役に立ちます。もっと積極的に女性や若者、そして外国人の方等が地域の防犯・防災活動に参加できる仕組み作りをして頂ければと思います。また、防災訓練や講座開催においては、開催方法（ハイブリッド開催や託児等）についての検討、男女で役割が極端に偏らないような配慮をしっかりとお願いしたいです。

・回答

【担当課：協働安全課】

災害時の女性目線は非常に重要と考えており、訓練や講話などの機会を捉えて、避難所の開設や運営管理、プライバシーの配慮について、女性目線での

対応を市民に周知しています。また、高齢者・障がい者・外国人など各種団体とは個別に出前講座などで訓練や講座を実施し、意識の向上を図っています。

また、防災訓練や講座開催などの開催については、誰でも参加 OK で開催しています。

【担当課：福祉課】

岩倉市赤十字奉仕団は、従前から女性が中心となり、市と協力して地域で防災活動等に取り組んでいます。

避難行動要支援者名簿及び個別避難支援計画の作成については、個人情報を取り扱うことから手上げ方式を採用しているため、より多くの方々に取組を知っていただくための周知が課題であると認識しています。

【担当課：健康課】

ご意見ありがとうございます。

【担当課：消防本部総務課】

消防団活動に多くの方に参加いただくために、消防団には、火災等の現場活動に従事する基本団員と応急手当講習の指導補助、住宅用火災警報器の普及啓発活動等に従事する機能別団員を制度化しています。

また、小学生を対象に少年消防クラブを組織し、防火・防災思想の普及を図っています。

施策：3-（3）-③

子どもや若者の育成支援のためのネットワークづくり

意見
・内容 プレママと新米ママの教室のように、プレパパと新米パパの教室があったら良いと思います。ママはお腹に赤ちゃんが宿った時点で体も心もママになりますが、パパは子どもが生まれるまで（人によっては生まれたあとも）、なかなかパパになったことを感じにくい場合があります。既にパパママセミナーを開催しているかと思いますが、発展版のようなイメージです。プレママ新米ママ教室のように、パパ向けのもあれば、パパも”共に”子育てをしていくんだという意識がより強くなるのではないかと思います。また、パパも不安だと思うので、パパたち同士の横のつながりを作る場の提供といういみでも、ぜひ開催の検討をして頂きたいです。開催方法については、一人でも多くの方が参加できるよう、ハイブリッド開催が良いのではと思います。
・回答 【担当課：健康課】 パパママセミナーの参加者に実施したアンケートによると他の父親との交

流を求める人は 28.2%でした。陣痛から出産の流れ 31 人、パパからママと児への関りかたを知りたいといった声もありましたので、いただいたご意見を参考に検討していきます。

施策：4－（１）－①

母子の健康づくりの支援

施策：4－（１）－②

子育て、子育て・親育ち支援

質問、意見

・内容

R1 と R5 を比較し、成果指標☆3 この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合が引き続き 9 割以上と高い中、☆2 幼い子どもを育てる所として”良い”と思う市民の割合が更に減っており、☆1 母子保健サービスに満足している市民の割合も 1 割程下がっています。なにが要因と考えられますか。

例えばですが、子どもの検診で保健センターに母親が来るときに、アンケートを取るのはいかがでしょうか。待ち時間に携帯を使用して簡単に答えられるように、QR コードを読み取って、携帯でアンケートに答える形であれば、子育て世代のリアルな声が聴けると思います。

・回答

【担当課：こども家庭課】

ご意見ありがとうございます。

アンケートの回答には、その時点での社会情勢や経済の状況等も大きく影響されてくると考えております。今後も様々な機会を見て、子育て世帯の声を聞いていきたいと思っております。

【担当課：健康課】

母子保健サービスに対する満足度が下がった理由としては、コロナ禍で感染防止のため母子保健サービスを縮小や内容変更して実施した時期があったことが影響していると思われます。乳幼児健康診査では、問診票の中で母子保健サービスの満足度をきいており、成果指標☆3 は、乳幼児健康診査を受診した人の結果となっています。また、産後に保健師や助産師からの指導・ケアを十分に受けることができた人の割合は、R1 89.5%→R5 90.5%と増加しており、母子保健サービスの一定の水準は確保できていると思われます。

施策：4－（3）－①

性差を踏まえた健康づくり

意見
・内容 成果指標☆2子宮頸がん検診を受診している女性の割合がR1よりも更に減ってしまっています。今後の取り組みにも記載がありますが、がん検診が受診しやすい体制を整えることは急務だと思います。書かれているように、WEB予約ができるようになれば、受診率は上がるのではないのでしょうか。現状、子宮頸がん検診の予約は、保健センターへの電話申し込みです。電話がつながる時間や曜日が決まっているため、その時間曜日にかけられないこともあります。また、なかなか電話できないうちに、予約可能人数がいっぱいになってしまったり、申し込み期日が過ぎてしまったりということもあるので、24時間いつでも予約ができるよう、WEB申し込みの導入を早急にお願いしたいです。
・回答 【担当課：健康課】 令和6年度は、10月9～12日の4日間をヤング week と題し、20～39歳の人を対象にWEB予約限定の検診日を設け、WEB予約の試行を行いました。詳しい分析や評価は今後行っていますが、利便性の向上や受診者数の増加に一定の効果が見受けられました。 令和7年度からは、WEB予約の対象年齢や検診日を拡大し、実施していく予定です。

施策：4－（3）－③

性感染症対策や性教育の推進

意見
・内容 小学生向けにも、年齢に応じた性教育をして頂きたいです。今は小学生でも、高学年くらいになると性交渉をする子はいるので、早期教育が非常に重要であると思います。また、低学年においては、体の大事な部分はどこか、他人に体を触られたり写真を撮られたりすることは性犯罪被害であること等、自分で自分を守ることができるようにしっかり教えてあげる必要があると思います。各家庭で保護者皆ができれば良いですが、なかなか難しいと思うので、学校で教えてあげられると良いと思います。
・回答 【担当課：健康課】 以前に、小学校において養護教諭と連携し健康教育を行っていました。今後必要に応じて、学校教育課と連携して事業を行います。 【担当課：学校教育課】 小学校では保健の授業、中学校では保健体育の授業において、年齢に応じた性教育を行っています。

施策：5－（1）－②

女性や若年層に対する性暴力やDVの根絶

意見
・内容 相談窓口が分からない人たちのためには、広報紙や岩倉市のHP 等で、相談窓口の周知を積極的に図って頂きたいです。相談窓口は分かっている人も、相談しにくさを感じている人たちのためには、気軽に相談できるよう、記載の仕方にも工夫が必要かと思います。また、男性の被害者は、女性以上に相談しづらいのが現状です。男性の被害者も相談しやすいようにしていく必要があるかと思います。
・回答 【担当課：こども家庭課】 ご意見ありがとうございます。今後も、誰もが相談しやすい環境づくりに努めていきます。

施策：5－（１）－③

児童虐待の防止・早期発見

意見
・内容 今後の取り組み内容について、切れ目のない相談・支援があることで、児童虐待の多くは防げると思うので、非常に良い取り組みだと思います。189の周知については、広報紙にも掲載しつつ、チラシも一緒に挟み込むのはどうでしょうか。
・回答 <u>【担当課：こども家庭課】</u> ご意見ありがとうございます。今後も、周知に取り組んでいきます。

施策：5－（１）－④

高齢者虐待の防止・早期発見

意見
・内容 児童虐待と同様、広報紙やチラシの挟み込みで、積極的な周知を継続すべきかと思います。高齢者虐待防止月間には大々的にHPや広報紙で取り扱い、防止月間でなくても広報紙には必ず掲載するとより良いのではと思います。
・回答 <u>【担当課：長寿介護課】</u> 現在は年1回広報紙に高齢者虐待に対する記事を掲載していますが、ホームページなど他の媒体でも周知していきます。

施策：５－（２）－②

教育の場におけるハラスメント防止の啓発

意見
・内容 学校現場におけるハラスメント防止は、先生側への意識啓発と同時に、子どもたちへの教育も非常に重要だと思います。こういったことをされたらハラスメントなのか、ハラスメントを受けたときにはどこへ相談したら良いのかを、あらかじめ子どもたちに教えてあげる必要があります。また、先生からの通報制度のようなものもあると良いのかなと思います。例えば、ある先生が生徒にハラスメントをしている事実を、他の先生が知った時に、他の先生にハラスメントがあった事実を通報するような仕組みです。通報先も明確に決めておく方が良いのではないのでしょうか。
・回答 【担当課：学校教育課】 毎月行われています校長会で、校長に不祥事防止について周知しています。また他の教職員については、不祥事防止リストをチェック事項としたものを各学校のタイミングで実施し、校長・教頭がチェックすることを防止対策として行っています。

全体に関すること

意見
・内容 昨年度の委員会でも意見として出させて頂きましたが、委員メンバーから出た質問や意見につきまして、施策内容や実際の取り組みにどの程度反映されているのかを分かるようにして頂きたいです。委員からの意見等が、岩倉市の男女共同参画の取り組みにしっかり活かされているのかが分からないので、明確にして頂きたいです。
・回答 【担当課：協働安全課】 この推進委員会や行政推進会議では、概ね担当課から委員を選任しているため、指摘事項については、各課の取組に活かしていただくよう期待しているところです。 昨年度と様式を変えておらず恐縮ですが、ご意見を参考にさせていただきます。

